

スキー部

部長 松山 毅
監督 辻川比呂斗

①平成22年度役員名簿

部長 松山 毅
監督 辻川比呂斗
主将 大倉 友代

②平成23年度役員名簿

部長 松山 毅
主将 大倉 友代

③平成22年度部員名簿

スポーツ科学科3年
大倉友代 長野・上田

④平成22年度戦績

秩父杯・秩父宮妃杯・智仁親王杯
第84回全日本学生スキー選手権大会
(秋田県鹿角市花輪スキー場 2月16日～24日)
女子2部大回転 大倉友代 3位
回転 大倉友代 途中棄権
男子2部大回転 奈良誠之
男子2部スプリント 塚本博幸
男子2部10kmフリー 伊藤良太
塚本博幸

⑤クラブの活動状況

本年度は、新入生は一人も入らず、部員1名で活動をスタートした。昨シーズンは念願だった2部昇格を男女共に達成したので、2部でも戦える体づくりを目的にオフシーズントレーニングを始めた。

前期には主にスキーに必要な基礎体力を向上させるトレーニングを行った。またさくらキャンパスで医学部スキー部と合同の合宿もおこなった。

後期に入ると、これまで培った基礎体力の向上に加えて、コーディネーションなどの複雑な運動を取り入れ、徐々にスキーをイメージする練習を行った。

12月上旬にはいよいよスキーシーズンに入り、イタリア・ウルテンタールで他大学の選手と合同で約3週間の雪上合宿を行った。また、まずは雪上でスキーに慣れ、滑りの感覚をチェックし、毎晩ビデオで自分の滑りを分析するなどして技術を向上させた。実践的な長いコースセットでの練習も行うことができ、インカレ上位入賞に向けて楽しみながら各自が質の高いトレーニングを行うことができた。帰国後の年末年始には主に長野県の菅平高原で練習を行い、大会前の最終調整を行った。

今シーズン最初の大会は、志賀高原で行われた学生チャンピオン大会であった。思うような成績は残すことができなかったが、インカレに向けての新たな課題を見出すことができた。

例年ならばインカレは1月中旬に行われていたが、今年のインカレは1カ月遅れの2月半ばという変則的なスケジュールで行われた。この大会には医学部の選手も3名参加してのぞんだ。しかし女子は2部残留を決めたが、男子は残念ながら3部への降格となった。インカレ後も、ポイントレースや全日本選手権に出場していく予定なので、これまでのトレーニング成果を挙げるべく全力をつくしたい。

⑥平成23年度の抱負

部員は22年度のシーズンを23年4月まで活動する予定である。そのため、2月の現時点では来年度に向けては未定ではある。

他の部に比べて部員数は少ないが、その分各自が高い目標と責任感を持ち自立を目指しながら、目標に向かって切磋琢磨できる「チーム」をつくっていきたい。